

色麻町^{しもたかぎ}下高城地区の（農法）下高城ふああむは機構集積協力金の地域集積協力金を活用し、平成26年10月8日に誕生した農事組合法人だ。地域計画策定や、農業経営基盤強化促進法等の改正法により、農地集約を進めていく中で、地域農業の中心的役割を担っている。

同地区は、保野川と長谷川があり、水源に恵まれた広大な田園地帯だ。農業者の約7割が集落営農組合に所属しており、法人化を条件に「経営体育成基盤強化整備事業」を活用。1畝ほ場の整備を進め、経理はプール計算に取り組んでおり、法人設立に向けた下地作りに取り組んでいた。

主な作物は水稻であるが、産地野菜の「高城ごぼう」は人気が高く、毎年10月から11月にかけて販売している。販売日にはゴボウを買い求める人で賑わい、代表理事の早坂成弘さんは「作り続けてきたからこそ皆さんに味を知ってもらえて、多くのファンも出来た」と話す。

【記事提供】色麻町農業委員会

高城ごぼうを持つ早坂代表理事



ごぼう収穫の様子

